



平成 22 年 6 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー エ ヌ ア イ
代 表 者 名 取 締 役 代 表 執 行 役 社 長 兼 CEO イ ン ・ ル オ
(コード番号:2160 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 田 中 忍
(TEL. 03-5326-3097)

ライセンス導入契約締結について

株式会社免疫生物研究所（ヘラクレス上場：4570（以下、IBL））と当社 100%子会社である上海ジェノミクス社（以下、SG）は中国市場開拓の目的でライセンス導入契約を締結しましたのでお知らせいたします。

記

中国保険医療市場に重点を置く臨床試験段階にあるバイオフーマ会社である株式会社ジーエヌアイ（以下、GNI）は、日本での抗体を中心とした研究用試薬のリーダー的企業である IBL から、100%子会社である SG が中国で急成長を続ける癌検査薬市場に参入するため、IBL の数種類の抗体技術に関してライセンスを導入する契約を締結致しました。

GNI と SG は医薬品業界の研究開発部門で成果を挙げてきました。研究開発部は、社内の医薬品開発に止まらず、中国および世界的に製薬会社の多種多様なプロジェクトで協力体制をとっており、また、ゲノム研究の手法から日本、中国および世界的に販売している抗体等が生れて来ました。これらの技術提供業務は GNI が中国での第 1 級薬品承認（F647：IPF）に先駆けて企業収益貢献と国際的知名度向上に役立っております。

IBL は、これ迄日本に於いて、癌、炎症、その他重大な病気に関与している物質に対する抗体を開発し、疾病の原因解明に重要な役割を果たして来ました。IBL によって作られた多くの高品質の抗体は中国の種々の病気に対する検査キットに使用できます。中国の検査用試薬業界は未だ緒に就いた処で、将来大きく発展する可能性を有しております。

IBL 清藤勉・代表取締役社長と GNI/SG の社長兼 CEO の Dr. Ying Luo は次のように表明しております。「両社の提携は IBL の検査用抗体の先端技術と、中国市場に主要基盤を置く GNI の立地的メリットの相互活用によるシナジー効果を期待するものであり、これを第一歩として将来に向けて更なる協力体制により、両社の発展を願うものであります。」

株式会社ジーエヌアイについて

2001 年に遺伝子系列解析による創薬を目的に設立され、2005 年 6 月に上海ジェノミクス（2001 年設立）

を買収し、中国に於いて新薬開発、試薬製造販売、及び他の国際的製薬企業との共同研究にも携わり、開発受託を日中一元的に行っています。東京に本社があり、R&D、製造、販売活動については上海で行っています。

<http://www.gnipharma.com/>

株式会社免疫生物研究所について

1982年に、医薬品、医薬部外品および研究用試薬の研究、製造、販売を目的に設立されました。抗体を中心とする免疫学の研究成果と基盤技術を基に、研究用試薬の開発・製造・供給および受託サービスなどからなる研究用試薬関連事業、実験動物の輸入・開発・製造・供給および受託サービスなどからなる実験動物関連事業、医薬シーズのライセンス事業からなる医薬関連事業、及び飲料水販売からなるその他事業を展開しております。従業員は、70名であります。

<http://www.ibl-japan.co.jp>

以 上